

辨せねばならぬ有様となり、國家財政の前途に對し憂慮措く能はざるに至らしめた。是れ本會が行政財政及税制の根本的整理を主張する所以であつて、大に行政制度及其機關を簡易化し、不急の事業、冗費及各種の補助費等を整理し、且つ全般に亘り社會政策を加味した一大改革を施し、以て歳入出の均衡を得た健全な財政の立て直しを促進すべきである。

國家財政の建て直しと共に切要なるは國民各個の生活を安定せしむる計りでなく、進んで全般の富力を培養充實して國力の増進を圖ることではなればならぬ。元來我國國民經濟の最大病源は人口に比して國土の利用し得べき面積及資源の過少なる事換言すれば國土の廣袤及資源に對する人口の過剰に存する。故に之が匡救には我國民の大々的海外發展を最大急務とする。滿蒙を以て生命線と認め、新滿洲國の獨立を承認した一半の理由も實に之に存するのであるから、今後同國の産業を開發し、彼我の經濟を統制して有無相通するに至らしめ、且つ大々的に移民を送つて内地の人口過剰を醫すると共に、滿洲に於ける我地歩を鞏固ならしむるは、經濟上よりも最も努力すべき要務である。

併しながら吾人の所謂「民族の海外發展」は單に滿洲國に限られたものではなく、支那南洋は勿論、廣く世界の各方面に對する市場の開拓及擴張を意味する。之が爲めには國內産業の振興特に技術の發達原料の補給並爲替、關稅、海運等の各分野に對し施設獎勵すべき多くを要するも、其詳細は之を他日に譲り、本會の主張たる「中正なる經濟政策」に就て尙一言するに止め様と思ふ。

吾人の經濟政策は右に偏せず、左に片寄らず、中正なる途を進むのである。今日の資本主義經濟は益々貧富の懸隔を大ならしめ健全なる中産階級を減し無産貧民階級を増加しつゝある。故に之を修正して中道に引戻し國民全般の生活を充實安定せしむることは大に必要であるが、左りとて餘りに左傾して共產主義に至るは勿論、社會主義に至ることも折角發達しつゝある産業を阻碍し、國家全體としての經濟力を萎縮せしむる所以であつて、吾人の採らざる所である。又近時盛に唱導せられつゝある統制經濟の如き、之を重要な公益産業に對し必要なる程度に適用するは可なるも、其他の産業に對しては、成るべく其自由發達を尊重すべきであつて、極端なる統制は共產主義と何等えらむ所なく却て産業の發達を阻碍し國民生活を窮乏に陥ること、彼の露國の現狀が能く之を實證する處である。以上を以て本會の新主義綱領の大要を説明した積りである。之を實現すべき方法手段特に具體的政策の如きに至つては將來に於ける國際及國內情勢の推移に依つて變化すべきものであるから、所要に應じ更に論述するであらう。

吾人の奮然蹶起したる理由（聲明）

昭和七年五月一日

總裁 田 中 國 重

我帝國は今や内憂外患の一大國難に直面し其狀恰も國家興亡の十字街頭に彷徨しあるの觀を呈し、危きこと宛